



# おさかな瓦版

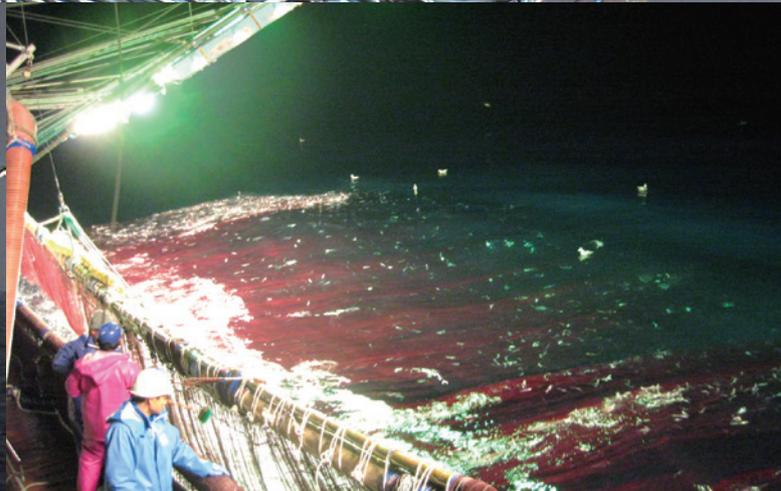
No. 67  
2015.9



シリーズ：いろいろな漁業 第6回

ぼう う あみ ぎよ ぎょう

## さんま棒受け網漁業



ふーちゃんのトピックス  
けんきゅうしょ あそ び に来てね!

よこはま はっけいじま  
横浜・八景島シーパラダイスで  
10月3日(土)サイエンスステージを開催します

# さんま棒受け網漁業

～明かりを上手に操って秋の味覚を漁獲する～

サンマは夏から秋にかけて、北海道から東北の近くに回遊してきます。さんま漁も秋ごろに盛んになり、脂ののったサンマが最も多く獲れることから、サンマは秋の味覚の一つとして人気があります。そのほとんどは、さんま棒受け網漁業によって獲られています。

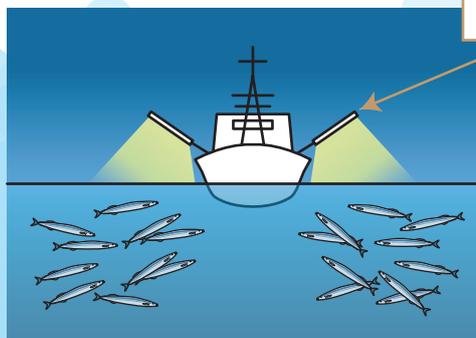
さんま棒受け網漁業は、サンマが光に集まる習性を利用した漁業です。漁は日没から夜明けにかけて行われます。集魚灯という明かりがたくさん付いた漁船を使い、明かりをつけたり消したりすることで、サンマの群れを移動させて、棒受け網と呼ばれる網の中に誘導して漁獲します。最近では集魚灯にLED照明を使って

いる船も多くなっています(表紙)。

網の中に入ったサンマはポンプで海水とともに船上に吸い上げられるため、乗組員がサンマに触れることはほとんどありません。そして、すぐに冷やした海水と細かく砕いた氷と一緒に、魚倉という船の中にある貯蔵庫に入れます。とても鮮度の良い状態で港まで運ぶことができるので、刺し身としてもよく食べられるようになりました。

最近では、外国の漁船も北海道から東へおよそ400～1200キロほど離れた北西太平洋で6月ごろからサンマを獲っています。サンマ資源を利用しているのは、日本だけではなく

## さんま棒受け網漁業



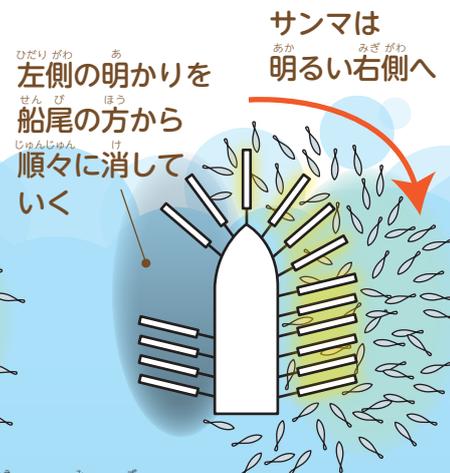
さんま棒受け網漁船 (正面から見た図)

### 1 集めて…



サンマの群れ

### 2 誘導



(上から見た図)

集魚灯でサンマを船の周りに集めて、明かりを消すことでサンマを船の右側に誘導します



サンマ



## さんま漁業の歴史

サンマを対象とした漁業の始まりは、1544年とされています。その後、さんま漁業は江戸時代後期（約220年前）から紀伊半島・房総半島の沿岸部で盛んになり、大正時代（約100年前）からはエンジンが付いた船で漁が行われるようになりました。

現在の光で集めてサンマを獲る棒受け網漁法は1940年ごろに日本で開発されました。第2次世界大戦のあと、さんま漁船の大型化（50～100トン型）とともに広く普及しました。今では外国の船もこの漁法でさんま漁をしています。

ているのです。しかし、刺し身でも食べられるような鮮度の良いサンマを水揚げしているのは日本だけです。ほかの国は船の上で冷凍して持って帰り、焼き魚や煮魚にしたり、缶詰の原料として利用したりしています。

これからも、秋の味覚として皆さんが安くおいしいサンマを食べられるように、水産総合研究センターは、サンマが海にどれくらいいるのか、北西太平洋でどのくらい獲ることができるのかを調べています。

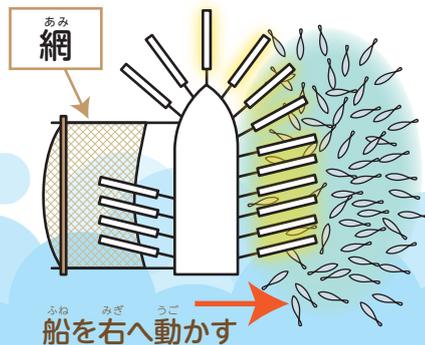
(阿保 純一)



### 3 網を入れて...

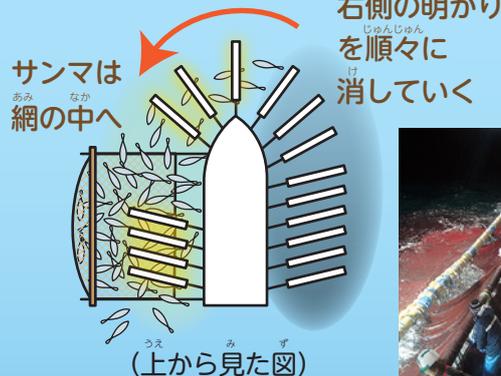
さんま棒受け網漁船は横に動くこともできます

サンマを船の右側に集めた状態で船の左側から網を入れ、船を右に横に動かしながら網口を広げます



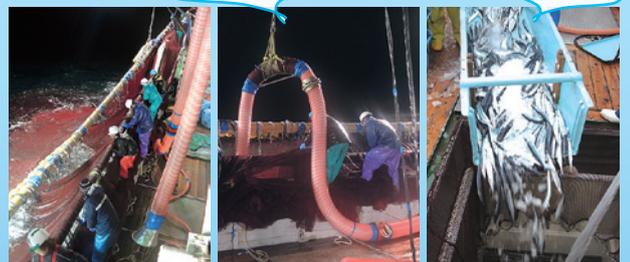
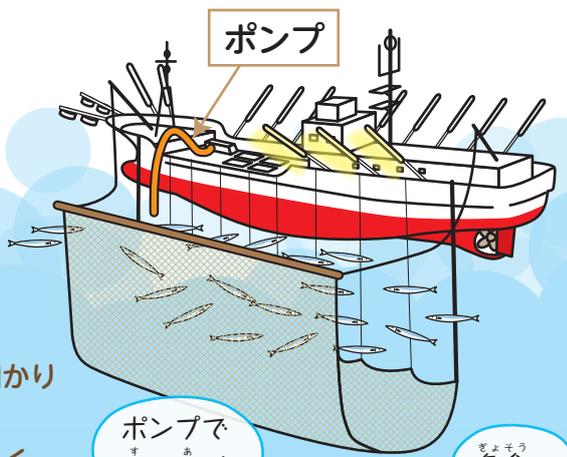
### 4 網の中へ誘導

網を広げたら、明かりを操作して、船の右側に集めたサンマを船の左側の網の中に誘導します



### 5 獲ります

網の中にサンマを誘導したら網を引き上げて、ポンプを使ってサンマを船上に吸い上げます





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

# 研究所に遊びに来てね!

前号に引き続き、研究所の一般公開のお知らせです。研究施設を見学できるチャンス! いろいろな体験コーナーで楽しく魚のことを学んじゃおう。

参加無料!!



## 一般公開のスケジュール

10月3日(土) 日本海区水産研究所 新潟庁舎 (新潟県新潟市)  
ウェブサイト ▶ <http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

10月3日(土) 西海区水産研究所 石垣庁舎 (沖縄県石垣市)  
ウェブサイト ▶ <http://snf.fra.affrc.go.jp/>

10月18日(日) 中央水産研究所 横浜庁舎 (神奈川県横浜市)  
ウェブサイト ▶ <http://nrifs.fra.affrc.go.jp/>

10月18日(日) 西海区水産研究所 長崎庁舎 (長崎県長崎市)  
ウェブサイト ▶ <http://snf.fra.affrc.go.jp/>

10月24日(土) 北海道区水産研究所 釧路庁舎 (北海道釧路市)  
ウェブサイト ▶ <http://hnf.fra.affrc.go.jp/>

10月31日(土) 国際水産資源研究所 清水庁舎 (静岡県静岡市)  
ウェブサイト ▶ <http://fsf.fra.affrc.go.jp/>

11月7日(土) 水産工学研究所 (茨城県神栖市)  
ウェブサイト ▶ <http://nrife.fra.affrc.go.jp/>

横浜・八景島シーパラダイスで

参加無料!!

さかなのナノを  
知るチャンス。  
みんなで見に来てね!



## 10月3日(土) サイエンスステージを開催します

水産総合研究センターは、横浜・八景島シーパラダイスに協力を得て、クイズやトーク、展示などで水産生物に親しんでもらう「サイエンスステージ」を毎年開いています。

今年は「うなぎのふしぎ」がテーマ。生きたウナギの仔魚「レプトセファルス」を見られたり、親ウナギにさわったり、楽しい催しがいっぱい。ぜひ見に来てね!

### 【場所】

横浜・八景島シーパラダイス (横浜市金沢区八景島 シーサイドライン「八景島駅」)  
水族館『アクアミュージアム』前

▶ 横浜・八景島シーパラダイス ウェブサイト <http://www.seaparadise.co.jp/>



ふーちゃん と



ふつくん : あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 No.67 (2015年9月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産総合研究センター  
質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3  
クイーンズタワーB 15階

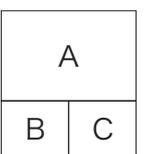
TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702  
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふつくんが「なんでもコーナー」でお答えします。



水産庁の主催する魚の国のしあわせプロジェクトに参加しています

### 表紙写真



- A: さんまの水揚げ
- B: 明かりをつけて  
操業するさんま棒受け網漁船
- C: 網の引きあげ作業

リサイクル適性  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。